



ふくちやまし

議会だより

No.25

平成11年2月1日
発行 福知山市議会

編集
福知山市議会だより編集委員会
福知山市字内記13の1
☎0773(22)6111

12月定例 1月臨時 市議会のあらまし

■12月定例会

12月定例市議会は、12月1日から21日までの21日間にわたって開催された。この議会では「平成10年度一般会計補正予算」など15議案を審議、いずれも原案どおり可決した。また9月定例会で継続審査とし、10月27日から30日までの4日間、決算審査特別委員会で審査した平成9年度決算2議案を認定した。請願は8件が提出され2件を採択、「道路整備予算の確保に関する意見書」と「在日外国人高齢者等への国民年金制度適用に関する意見書」を関係機関に送付した。

▼補正予算▲

10月に専決処分を行ったものを含め台風7号・10号による農林・土木災害復旧費など一般会計で3億9、883万9千円を補正し、補正後の全会計の総額は66億7、197万3千円となった。

▼請負契約▲

上豊富小学校の校舎増改築工事
5億2、500万円

▼人事議案▲

固定資産評価審査委員会委員に
片山博一氏(六十内・69歳・再任)
の選任に同意した。

■1月臨時会

1月18日に開会、国の緊急経済対策を受けて計上した平成10年度一般会計補正予算など6議案を審議し、いずれも原案どおり可決し20日に閉会した。6議案の補正総額は18億8、083万円にもなる大型の補正で、そのうち17億9、095万円が地域振興券交付事業、下水道牧川系統の管渠布設やポンプ場工事など、経済対策によるもの。



東佳屋野の老人クラブ「和佳芽会」が丹精された見事な葉ボタン（1月9日 ささべ歩道橋下）

一般質問

(12月定例会)

不況対策・ダイオキシン対策 6億円の国保基金の活用を

日本共産党市会議員団

質問 消費税の増税・医療費負担の引き上げで、消費が落ち込み不況が長引いている。政府はこの失政を反省することなく、引き続き一部の高額所得者だけが対象になる減税をすすめ、消費税の引き下げなど国民の願いに背を向けている。こんな時こそ、地方自治体が国の悪政から市民のくらしを守る事が重要であり、福知山市に「不況対策本部」を設置し、全庁あげて本格的な不況対策をとりくむべきだが市長の見解は。

答弁 福知山地方もきびしい景気の状態だが、国レベルの対策を待ち、「不況対策本部」を設置する考えはない。

質問 ダイオキシン問題は市民の中に不安も広がっており、対策は急務だ。土壌や水質など調査対象を拡大すべきだ。また、家庭での分別収集もすすみ、不燃物の量が増えている。不燃物の回収をせめ

て週1度実施すべきだが市長の見解は。

答弁 土壌や水質の検査は、国や京都府の指導を見守りたい。不燃物の収集は、新焼却炉の稼働までに検討を行う。

質問 上六人部小学校のフェンスが低く野球のボールなどが外へ飛び出している。高いフェンスに改修すべきだが、教育長の見解は。

答弁 緊急性の高いものから改善しているが、上六人部小学校のフェンスの改修も、要望として受けとめている。

質問 これまで繰り返し国民健康保険料の引き下げを求め、今年度も1世帯あたり平均で9,500円の引き下げが実現した。しかし、不況で市民生活が大変であり、条例を改悪してまで積み立てた6億円の基金を使って、窓口で支払う一部負担金の減免や猶予を行うべきだが市長の見解は。

答弁 国保の基金を活用する考えはない。

土師地区の排水対策・下六人部学区の道路整備・学校教育

政和会

質問 長田野工業団地に隣接する土師地区においては、集中豪雨の時には水路が満杯になり、住民の日常生活に大きな支障をきたしているが市の考えは。

答弁 土師川への排水対策を実際にやると100億円の事業費がかかる。現在、長田野3号排水路を上流で分けられないかと検討している段階であり、具体的な計画が出来ればその時に説明が出来る。



土師地区の排水対策を(長田3号排水路)▶

質問 長田の田郷を通過して岩間橋に接続するバイパス道路の進捗状況と、上松・段地区の市道の拡幅と排水の改善策は。

答弁 バイパス道路については京都府の企業局とも相談して進めていきたい。上松地区の市道改良については来年度調査費を計上したい。

質問 いじめと不登校の実態とその改善対策は。

答弁 いじめは早期発見・早期対応に努めている。無視・仲間外れなどは年間10件程度で推移していたが今年は減少した。ただし、いじめは見えにくくなるものであり注意していきたい。不登校にはスクールカウンセラーや心の相談員を配置している。

質問 学校のゴミのダイオキシン対策は。

答弁 ゴミの減量とリサイクルの徹底を図り、焼却場への運搬は事故防止に十分注意していきたい。



山陰新幹線と自動車道整備・国道9号下小田まで拡幅改良について

新政会

質問 21世紀は環日本海時代を迎えるのに、整備新幹線構想が山陰にはない。自動車道を含め、地域が連携して国、府、県への要望は。

答弁 京都縦貫道、国道426、429号を考える時、道路を優先すべきと思う。

質問 地域の伝統を生かした創造的な街づくりの考えは。

答弁 四年制大学も創造的な街づくりの一環だ。また、西駅の機関車を広小路・上紺屋付近にも考えている。

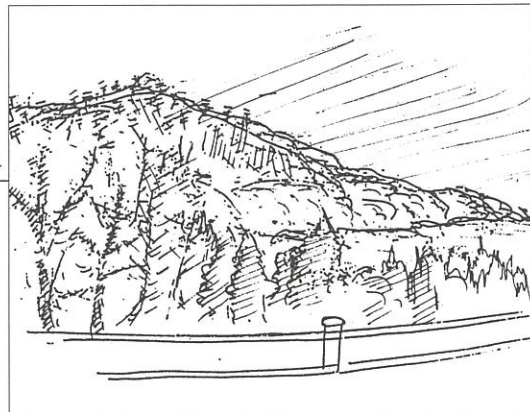
質問 周辺市町との連携を密にし、観光回廊整備を。

答弁 三町の特色を

十分利用させていただき、地域連携していく必要がある。

質問 中六人部の向山、安宅山開発に行政指導をお願いしたい。産廃業者に渡れば大変なことになる。

答弁 土地利用にあてがないわけではない。まだ公にする段階でない。



舞鶴道からみた向山、宅山

く、しばらく待つてほしい。

質問 岩井の農免道の供用開始と安全対策について。

答弁 標識整備をし、市道認定の後になる。長安寺線との交差点は公安委員会と協議し検討する。

質問 国道9号線の渋滞解消のため下小田までの拡幅改良を。

答弁 拡幅改良の基礎調査は済んでいるが、予算的に厳しい。市としても重要課題と認識している。

質問 ジャスコ隣接の駐車場はジャスコ開発とは別問題と考えるが、府の見解は。

答弁 府の所

管事項で市は関知しない。

質問 ゴミ消却の余熱利用で高齢者向けの福祉施設の建設を。

答弁 発熱量が制約されているので施設建設は難しい。

質問 不燃物回収の増回を。

答弁 新炉の完成を待って検討する。

公設卸売市場活性化の方策

中教審答申と学校教育のあり方

福政会

質問 福知山市公設卸売市場の活性化対策の具体的考えは。

答弁 決算委員会で話したが、6億5千万円の赤字がある。財産処分を考えており、用地を公社で買い上げ、たとえば駐車場利用など考えている。

いましばらく時間がほしい。

質問 野菜出荷業者は、買い上げ価格が安いので出荷意欲をなくしている。市の助成策は。

答弁 トマト、長大根、キャベツ、ほうれん草、白菜などで価格補償をしている。



質問 大型スーパージャスコが青果物を買ひ上げるとのこと。地元や公設卸売市場にとっては大きくプラスになると思うが。

答弁 今後も注目していきたい。

質問 京都創成大学開学にむけて着々と努力がされている。大学用

地の確保、校舎建築、教授陣の確保等準備が進められている。これらの経過と今後の取り組みは。

答弁 議長、商工会議所会頭の立ち会いのもと、「四年制大学設置に係る協定書」に調印し、市の助成措置を確定した。また、文部省に認可申請を出し大きく前進した。また、大学設置審議会に諮問

され平成11年6月頃に第2次審査へ進むことになる。

質問 文部省の中教審答申が出され今後の学校教育が大きく変革を迫られようとしている。その内容は。

答弁 地方分権や規制緩和が盛り込まれたもので、都道府県、市町村の役割分担、教育委員会制度のあり方、学校の自主性、自立性の尊重など法律改正にもとづいて行なわれるものである。

不況下の財政運営・商業振興・長田段地内市道拡幅・交通安全対策

市民クラブ

質問 不況下での税収見積は、難しいと思うが、来年度予算編成期を迎え、経常収支比率の見通しは。

答弁 まだ数値がまとまっておらず分からないが、人件費は増える見込み。市税、地方譲与税等は若干減る。経常収支比率は高くなり、財政の硬直化が進むことになる。来年度は苦しい予算編成になる。

質問 空店舗対策事業の進捗状況は。

答弁 鉄道館ポツポランドがオープンし入館者も1万人を突破した。子どもにも人気が出ており、ありがたい。チャレンジショップ・「まちかどラボ」も出来て空店舗対策として有効だ。花を飾る機運を大切にしたい。

質問 中小小売商業等活性化基本構想策定委員会の動きは。

答弁 10月1日に設置し、通産局、

府にもメンバーに入ってもらった委員会の結論を得て、ビジョン作りの中で意見を尊重し関係者一体となり対応したい。

質問 長田岩間線の岩間橋から段地区に進入する地点は、カーブであり、登り坂で見通しが非常に悪い。交通量が増加しており拡幅改良が必要と思うが考えは。



答弁 現状は理解しており、今後、要望を踏まえ考えていきたい。前田岩間線とこれに代わるバイパスについては大事業で、市単独では難しい。

質問 国道9号線多保市地区内信号機付近は、大小5路線が交わり、カーブで見通しが悪く危険である。従来から改善要望をしているが、その経過について。

答弁 難所である。ゼブラゾーンもできているが、根本的に付近の立ち退きも含め改善しなければならぬ。

野家の踏切改修は・防災計画について・腎臓透析患者の助成は

市民クラブ

質問 地価下落に伴い、固定資産税を軽減すべきではないか。

答弁 全国的に地価は連続下落しているが、本市の下落は極めて低く、下落率に準じて固定資産税は軽減する。

質問 一宮神社横の岡踏切は、平成3年に列車とダンブが衝突する事故があったが、今だに未改修だ。早期に改修を行うべきではないか。



答弁 確かに危険な踏切なので早期改修が必要だ。JRの改修基準が難しいが危険なので改修に努力する。

質問 災害時における情報処理体制と急傾斜地の管理について。

答弁 河川情報センター、気象協会等から情報を庶務課の全市図に揭示している。危険地域のある自治会へは連絡している。防災アセ

早期に改良を(野家の岡踏切)▶

ス後、防災計画は自治会に配布する。

質問 家庭の大型・不燃・可燃ゴミの収集方法の変更について。

答弁 新焼却炉の稼働にあわせて課題として検討する。

質問 商工関係予算が類似都市より少ないが、考え方について。

答弁 府内11市中、平成9年が7位、平成10年が5位に上がっている。

質問 腎臓透析患者に対する通院手段の確保および通院費の軽減は。

答弁 腎友会の会長から、運転ボランティアの力で助けられており、何らかの援助をしてほしいと要望されている。他市では社会福祉協議会

が移送サービスを行っているようだ。運転ボランティアにお金を渡すことはむずかしいが、透析患者に対しては何らかの方法を考える必要がある。透析ベッドの数も充分ではない。

質問 放課後児童健全育成事業は。

答弁 本市としては「校庭開放事業」として考えている。



可決した意見書

道路整備予算の確保に関する意見書

道路は、豊かな生活の実現と国土の均衡ある発展を図るため最も基本的な社会基盤であります。

本市では、京都縦貫自動車道や近畿自動車道敦賀線を始めとする広域幹線道路を骨格としたネットワークの整備、岡地区の拡幅と駅南地区土地区画整理事業やJR福知山駅連続立体交差事業と一体となった国道9号等の整備、歩道設置等の安全対策の早急な整備実現が望まれているところであります。

よって、国におかれましては、道路整備の重要性を深く認識され、次の事項について格段の配慮をされるよう強く要望します。

記

- ① 平成11年度予算においては、新道路整備五箇年計画に基づき、円滑な道路整備を推進していくため、道路特定財源制度を堅持するとともに、一般財源を大幅に投入し、道路整備費を拡大すること。
- ② 活力ある地域づくり・都市づくりを推進するため、市町村道から高規格道路に至る道路網の整備

を一層促進すること。

- ③ 渋滞対策、交通安全対策、沿道環境対策等安全で快適な生活環境づくりを推進するため、道路整備を一層促進すること。

- ④ 地方の道路財源を確保するとともに国と地方が適切な役割分担のもと、協調、協力して計画的に整備管理を推進すること。

提出先 内閣総理大臣、大蔵大臣、建設大臣、自治大臣

在日外国人高齢者等への国民年金制度適用に関する意見書

政府は、昭和57年1月1日、国民年金法における国籍条項を撤廃し、在日外国人にも国民年金加入の道を開いたが、当時、35歳以上で老齢年金受給資格を満たせない者の年金加入と、20歳以上で既に障害者となっている者の障害年金給付は対象外とされた。

また、昭和61年4月1日から実施された新国民年金制度においても、当時60歳を超えた高齢者と24歳を超えた障害者の在日外国人は除外され、現在も無年金のままとなっており、日常の生活や将来に大きな不安と負担を強いられている。よって、政府におかれては、戦

前、戦後を通じ数世代にわたってわが国に住み、生活の基盤を築いている在日外国人の歴史的事情を考慮して、国民年金の受給資格を得られなかった在日外国人の高齢者・障害者に対し、国民年金法の改正等、救済措置を速やかに講じられるよう強く要望する。

提出先 内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣

市議会史発刊!!

福知山市の市制施行60周年を記念して、『福知山市議会60年のあゆみ』を平成10年12月25日に250部発刊しました。

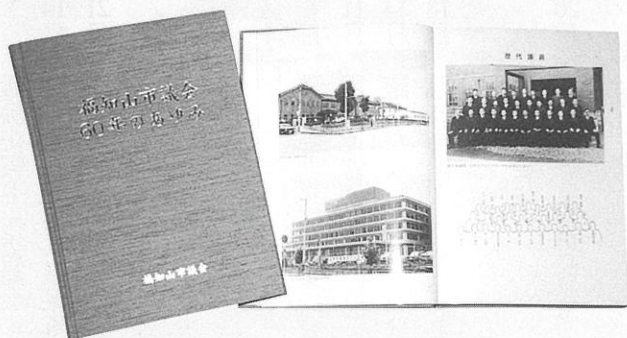
議会史の編さんは、以前からの懸案事項でありましたが、平成9年7月3日に市議会史編さん委員会（松原忠一委員長、委員10名）を設置し、平成9年度、10年度の二箇年で完成したものです。

体裁はB5判、横書き、総頁数486頁の布張り上製本で、写真も116点収録しており、見やすくなっています。

内容は、三部構成とし、「議会60年のあゆみ」では、昭和12年4

月1日から平成9年までの本会議と市の主な行事を編年で示した議会年表、意見書・決議の全文、採択・不採択の全請願タイトルを掲載しており、「議員の変遷」では、議員OBの座談会、歴代議員、議会三役、会派の変遷など、「議会の資料」では、議会開催状況、選挙結果、議員報酬の推移などを収録し、福知山市議会の60年のあゆみと当時の時代がよくわかるようになっています。

一般頒布用として、50部限定、一冊9千円で、市役所会計課・市会事務局で販売しております。



請願

【採択したもの】

◆在日外国人高齢者に対する（主として在日韓国人、朝鮮人）「特別給付金」支給を求める請願
（請願者 福知山市字堀 朴三守）

◆在日朝鮮・韓国人高齢者と障害者に対する「救済措置」を求める請願
（請願者 在日本朝鮮人総聯合会京都府三丹支部委員長 金徳春、在日本朝鮮民主女性同盟京都府三丹支部委員長 杜順点）

◆労働行政への独立行政法人制度導入に反対し、現下の雇用・失業情勢に対応した労働行政の充実・強化を図る旨の意見書採択を求める請願
（請願者 全労働省労働組合 京都支部福知山基準分会長 志賀敏之、福知山職安分会長 丸谷正美）

【継続審査扱いとなったもの】

◆教育予算の増額および教育条件の整備・充実に関する請願
（請願者 子どもと教育・文化を守る福天府民会議代表 友次義、福知山市教職員組合代表 大槻良夫）

化を守る福天府民会議代表 友次義、福知山市教職員組合代表 大槻良夫）

◆小・中学校における耳鼻科専門医検診の全学年実施を求める請願
（請願者 子どもと教育・文化を守る福天府民会議代表 友次義、福知山市教職員組合代表 大槻良夫）

◆動物園・科学館など市施設の義務教育児童・生徒の入場料無料化を求める請願
（請願者 子どもと教育・文化を守る福天府民会議代表 友次義、福知山市教職員組合代表 大槻良夫）

◆30人学級実現を求める意見書採択に関する請願
（請願者 子どもと教育・文化を守る福天府民会議代表 友次義、福知山市教職員組合代表 大槻良夫）

◆福知山市の小中学校の30人学級実現に関する請願
（請願者 子どもと教育・文化を守る福天府民会議代表 友次義、福知山市教職員組合代表 大槻良夫）

◆福知山市の小中学校の30人学級実現に関する請願
（請願者 子どもと教育・文化を守る福天府民会議代表 友次義、福知山市教職員組合代表 大槻良夫）

議会日誌

（11月から1月）

《11月》

2日 議会運営委員会

4日 近畿市議会議長会理事会（大津）

9日 新政会・政和会（11日）及び共産党議員団（10日）行政視察

12日 全国市議会議長会評議員会（東京）

13日 広域行政圏市議会協議会理事會（東京）

17日 茅ヶ崎市議会視察来市

18日 名取市議会視察来市

19日 全国市議会議長会基地協議会理事会（東京）

20日 市民厚生委員会・各派幹事会合同会議

24日 議会運営委員会、全議員協議会・議員研修会

25日 大学設置対策特別委員会行政視察（26日）

《12月》

1日 定例会開会（議案の提案説明）

9日 本会議（議案質疑、一般質問）

10日 本会議（一般質問）

11日 本会議（一般質問、請願上程）

議会史編さん委員会

14日 各常任委員会（議案審査）

21日 本会議（各委員長審査報告、採決ほか）（閉会）、全議員協議会、議会だより編集委員会

《1月》

6日 議会だより編集委員会

11日 議会運営委員会

14日 議会だより編集委員会

18日 臨時会開会（議案提案・質疑）

各常任委員会

20日 本会議（各委員長審査報告、採決）

21日 廿日市市議会視察来市

27日 近畿市議会議長会理事会

編集後記

昨年は社会的、経済的不安など、諸々の問題があつた年でした。一方、積極予算のもとに大型プロジェクトが次々と施工され、また、市議会においても活発に議論を重ね、12月議会を終えることが出来ました。

新しい年を迎え、更なる前進のため、議員一同覚悟を新たにしているところでもあります。